35011598 ver.01 1-01 C10-016

BUFFALO

SSD-NS/M シリーズ

はじめにお読みください

取り付け作業を行うと、パソコンメーカーの保証が受けられなくなることがあります。
本製品をパソコンに取り付ける場合、パソコンを分解する必要があります。パソコンメーカーによっては、パソコンを分解すると保証が受けられなくなくことがありますので、あらかじめご了承ください。

本紙は、本製品のセットアップ手順を説明しています。

パッケージ内容

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

- □**SSD(本製品)..........................1台**
  - シリアルATAコネクター
  - シリアル電源コネクター
- □**変換マウンター（デスクトップパソコン取付用）..... 1台**

- □**ドライブベイ取付ネジ（ユニファイネジ）............................4本**
- □**SSD取付ネジ（Sタイトネジ M3）..........................4本**
- □**安全にお使いいただくために必ずお守りください..........................1枚**
- ☑**はじめにお読みください(本紙) 1枚**

シリアル No. を以下に書き写してください
本製品には、シリアル No. が記載されています。このシリアル No. はソフトウェアをダウンロードいただく際に必要となります。本製品をパソコンに取り付ける前に、以下に書き写してください。

※別紙「安全にお使いいただくために必ずお守りください」には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。
※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

取り付けの前に必ずお読みください

以下の項目を必ずお読みになり、パソコン本体のマニュアルを参照して、本製品をパソコンへ取り付けてください。

⚠注意
・パソコンメーカーおよび弊社への取り付け手順に関するお問い合せはご遠慮ください。
・Macintosh をお使いの場合は、本製品の取り付け後に OS をインストールしてください(パソコン本体のマニュアル参照)。

メモ　画面で見るマニュアル(裏面参照)にも取り付け手順例を記載しております。パソコン本体のマニュアルとあわせてお読みください。

- ● パソコンや本製品は精密機器です。必ず別紙「安全にお使いいただくために必ずお守りください」をお読みください。
- ● パソコンの電源スイッチを OFF にする前に、すべてのアプリケーションを終了し、ハードディスクなどに記録されている大切なデータを、外付ハードディスクや他のメディア（DVD-R など）に保存してください。
- ● バックアップ（リカバリー）ディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコン本体のマニュアルを参照してバックアップ（リカバリー）ディスクを作成してください。
- ● 作業を行うときは、パソコン本体のマニュアルに記載されている注意事項を必ずお守りください。
- ● 取り付け作業を行う前に、パソコンの電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を必ず外してください。【パソコン本体のマニュアルを参照】
  電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を外さずに取り付け作業を行うと、感電する恐れがあります。
- ●パソコンの電源スイッチを OFF にした直後は、パソコン内部の部品に触らないでください。
  特に CPU や VGA チップは高温になっており、やけどをするおそれがあります。電源スイッチを OFF にして 30 分以上経ってから作業することをおすすめします。
- ● 本製品の取り付け作業でパソコン本体や本製品を破損 / 故障した場合、パソコンメーカーや弊社では一切保証致しかねます。
  本製品の取り付け作業は、ご自身の責任で行ってください。
- ● 弊社では、パソコン本体（本製品を取り付けたパソコンを含む）に対する保証は致しかねます。
- ● 静電気による破損を防ぐため、本製品やパソコン本体に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
  人体などからの静電気は、パソコン本体や本製品を破損、またはデータを消失させる恐れがあります。
- ● パソコン本体の仕様によっては、本製品の容量を全て使用できないことがあります。
  パソコンの仕様によって、使用できる容量に制限があることがあります。お使いのパソコンが本製品の容量に対応しているかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。
- ● 次の物を用意してください。
  ・パソコンと周辺機器のマニュアル
  ・ドライバーなどの工具

デスクトップパソコンに取り付ける場合

変換マウンターを取り付け、パソコン本体のマニュアルに従ってパソコンに取り付けてください。

■変換マウンターの取り付け

付属の変換マウンターを図の向きで本製品に取り付けます。

注意
変換マウンターの向きに注意してください。

■パソコンへの取り付け

注意
作業するときは、必ずパソコン、ケース、マザーボードなどのマニュアルを参照してください。

取付例：3.5型ドライブベイ

1 パソコンや周辺機器の電源スイッチを OFF にし、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

⚠注意 **パソコンの電源ケーブルは、コンセントから抜いて作業をしてください。**

2 パソコン本体からケーブル類とカバーを取り外します。

3 変換マウンターを取り付けた本製品を 3.5 型ドライブベイに挿入し、付属のドライブベイ取付ネジで固定します。

右上へつづく

4 シリアル ATA ケーブルとシリアル電源ケーブルを接続します。

※シリアル ATA ケーブルとシリアル電源ケーブルは、パソコンに付属のケーブルをお使いいただくか、別途ご用意ください。本製品にケーブルは付属していません。
※シリアル ATA ケーブルを折り曲げないでください。折り曲げると、ケーブル内部で断線する恐れがあります。

突起の向きにご注意ください。
ケーブルには突起がついています。以下の向きで接続してください。間違った向きで無理に押し込むと、本製品やケーブルのコネクターが破損する恐れがあります。

シリアル電源ケーブル

シリアルATAケーブル

5 カバー、ケーブル類、周辺機器を元どおり取り付けます。

※ケーブルのはさみ込みやコネクターの抜けなどがないように注意してください。

メモ
・パソコンによっては、取付ネジがあまる場合があります。あまった取付ネジは大切に保管し、他のパソコンに本製品を取り付ける場合などに使用してください。
・パソコンによっては、取り付けたハードディスクの容量やセクター数などの値をパソコン本体の BIOS で設定しなければならないものがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して BIOS 設定が必要かどうか確認し、必要であれば設定してください。

以上で取り付けは完了です。

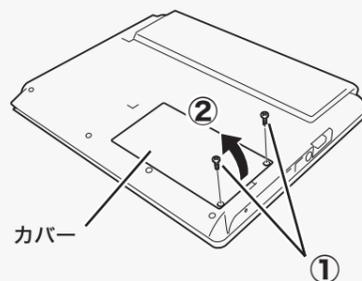
ノートパソコンに取り付ける場合

パソコン本体のマニュアルに従って取り付けてください。

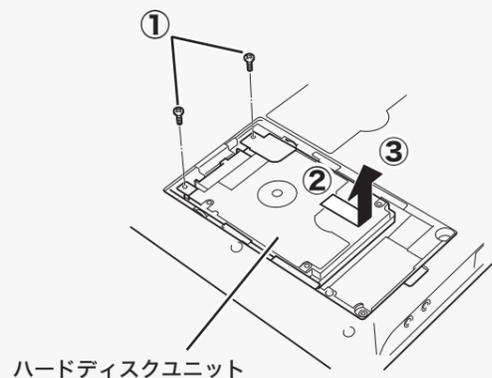
●取り付け手順は、お使いのパソコンによって異なります。
本書で紹介している取り付け手順は一例です。お使いのパソコンによっては手順が異なりますので、あらかじめご了承ください。なお、本書の記載内容に従って作業を行いパソコンや本製品が破損 / 故障した場合であっても、弊社は一切の保証を致しかねます。
●作業するときは、必ずパソコン本体のマニュアルを参照してください。
●パソコンメーカーおよび弊社への取り付け手順に関するお問い合わせはご遠慮ください。
弊社では、パソコンへの取り付け方法に関するお問い合わせを承っておりません。また、パソコンメーカーへのお問い合わせもご遠慮ください。

取付例:東芝社製「dynabook PX/820LL」

1 パソコン本体のマニュアルを参照して、パソコンのカバーを開きます。

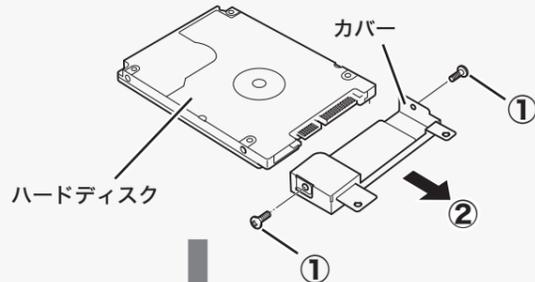
①ネジを外す
②カバーを外す

2 ハードディスクユニットを取り外します。

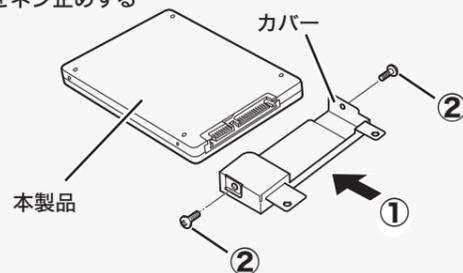
注意
コネクターに無理な力が加わらないように注意して、取り外してください。

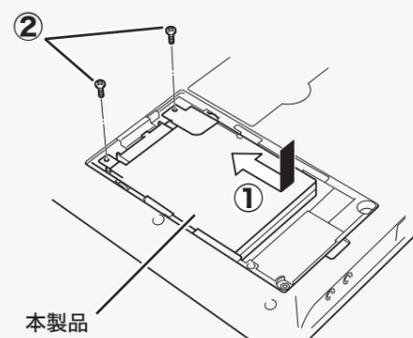
①ネジを外す
②ハードディスクユニットを引き抜く
③ハードディスクユニットを取り外す

右上へつづく

3 ハードディスクを本製品に交換します。

カバーを外す

①ネジを外す
②ハードディスクからカバーを取り外す

本製品に交換

①本製品にカバーを取り付ける
②本製品をネジ止めする

4 本製品をパソコンに取り付けます。

①本製品をパソコンに接続する
②本製品をパソコンにネジ止めする

5 パソコンのカバーを取り付けます。

※取り外した手順と逆の手順で取り付けてください。

以上で取り付けは完了です。

取り付けた後は

パソコン本体のマニュアルを参照して、リカバリーやフォーマットを行ってください。

便利なソフトウェア(Windowsのみ)

以下のホームページから Windows 用の便利なソフトウェアをダウンロードできます。

http://buffalo.jp/download/driver/hd/ssd-ns_m.html

ダウンロードできるソフトウェアは、以下のソフトウェアです。

TurboPC

TurboPC は、書き込みキャッシュを使用し、転送速度を高速化します。

TurboCopy

TurboCopy は、コピー / 移動するファイルをひとまとめに転送して効率化します。

Backup Utility

Backup Utility は、バックアップソフトウェアです。バックアップするドライブを指定しておくことで、一定間隔または指定時刻に自動でバックアップを行えます。

RAMDISK ユーティリティ

パソコンに搭載されているメモリーの領域を仮想ハードディスク「RAMDISK」として使用するソフトウェアです。
RAMDISK は、コンピュータ (マイコンピュータ) にハードディスクとして認識され、データの読み書きを行うことができます。
ハードディスクよりも高速なメモリーの特性を活かし、データの読み書きが快適に行えます。

Buffalo Tools ランチャー

Buffalo Tools ランチャーは、簡単にソフトウェアを起動させるためのランチャーです。Buffalo Tools ランチャーにあるアイコンをクリックするだけでソフトウェアやファイルを起動することができます。

イジェクトユーティリティー

イジェクトユーティリティーは、USB 接続機器 (USB メモリー、USB ハードディスクなど) をパソコンから安全に取り外すためのユーティリティーです。機器 (ドライブ) ごとにアイコンを変更できますので、取り外す機器が分かりやすく、簡単に取り外しができるようになります。

画面で見るマニュアルについて

画面で見るマニュアルには、付属ソフトウェアの概要やフォーマット手順など、本紙に記載されていないことが記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。画面で見るマニュアルは、以下の弊社ホームページをご覧ください。

http://buffalo.jp/download/manual/s/ssdnsm.html

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

項目		内容
電源		5.0 ±0.25V
消費電力		128GB:最大3.1W 64GB :最大2.9W
外形寸法		70(W)×101(L)×9.5(H)mm (突起物含まず)
動作環境	温度	0~70℃
	湿度	20~80%(結露なきこと)
対応機種		●SATAインターフェースを搭載する次のパソコン ・DOS/V機 ・Apple製 Macintosh ●弊社製SATAインターフェースボードを増設したDOS/V機
対応OS	DOS/V機	Windows 7(64bit, 32bit) / Vista(64bit, 32bit) / XP
	Macintosh	Mac OS X 10.5以降

※パッケージなどに表記の容量は、$1GB=1000^3$bytes で計算しています。OS やアプリケーションでは $1GB=1024^3$bytes で計算されているため、表示される容量が異なります。

本製品について
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオやテレビジョン受信機 (以下、テレビ) などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスクや本製品上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスクや本製品上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクや本製品に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

Acronis DriveCleanser
(Acronis 社製 アクロニス・ジャパン株式会社)

詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。